

欧米豪からの訪日旅行者の滞在と周遊を促進する「売れる」コンテンツの企画開発・流通環境整備事業 企画提案書作成要領

一般社団法人せとうち観光推進機構が実施する標記業務の委託に係る公募型プロポーザルに関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおりとする。

なお、プロポーザル参加者は、本事業の業務委託仕様書の趣旨に沿って提案すること。

1 企画提案時の提出書類及び構成

(1) 提出書類

正本1部、副本6部及び電子データ（CD-R等に格納）を提出すること。

(2) 構成

ア 表紙

イ 欧米豪からの訪日旅行者の滞在と周遊を促進する「売れる」コンテンツの企画開発・流通環境整備事業に係る提案書

ウ 事業実施スケジュール

エ 業務実施スタッフの業務内容並びに体制図

オ 事業実施実績（本業務に類似する業務に限る）

カ 見積書

(3) 留意事項

① 仕様書の趣旨を十分にくみとり、具体的に提案すること。

② 事業実施スケジュールについては、具体的に記載すること。

③ 見積書については、本業務に係る所要経費を全て見積るとともに、見積りの根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。

2 作成要領

(1) 用紙は、原則A4判（必要に応じA3判の折込みも可）両面使用とし、横置き横書き（縦綴じ）とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。

(2) ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部に印字すること。

(3) 審査の公正を期すため、企画提案書の副本には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付してはならない。なお、業務実施スタッフ体制図などには、プロポーザル参加者名を「当社」と記載すること。

3 評価基準

(1) 事業に対する基本的な考え方、事業内容の理解度

・機構のインバウンド戦略を十分に理解したうえでの提案となっているか。また、本事業の目的、内容を十分に理解しており、目的の達成が期待できるか。

(2) 企画内容の優良性

I 滞在コンテンツの造成

① 「売れる」コンテンツの評価・検証

- ・評価・検証にあたっては、せとうちに精通した知見を活用できる提案になっているか。活用する欧米市場のネットワーク、ランオペ、DMC等は、変化した市場のニーズを外国人目線で検証できるものか。

② 既存コンテンツの磨き上げ・新たなコンテンツの発掘

- ・活用する専門家は、インバウンド向けコンテンツ造成の十分な経験があるか。また、せとうちの地域資源等に対する知見があるか。
- ・機構が過年度に造成したコンテンツの状況確認の手法に関し、具体的で有効な提案がなされているか。
- ・①の評価・検証で明らかにした要素を反映させた既存コンテンツの改修及び、新たなコンテンツの企画・発掘に関し、アプローチ手法も含め具体的かつ有効と思われる提案がされているか。また、モニターツアーに関しては、有効な設計手法が提案されているか。
(※提案時に具体的なルート案を求めるものではない。)

①及び②共通事項

- ・本事業で磨き上げ及び新たに企画・発掘したコンテンツを含む旅行商品が効果的に販売が促進されるような具体的な提案となっているか。

II 受入環境の整備

③ 地域事業者のスキルアップセミナー

- ・セミナーの内容は、せとうちに対する知見や外国人目線を活用するなど、地域の自治体や観光関連事業者等の機運醸成に寄与するものか。また、その後の自発的なコンテンツ開発が促進されるような具体的な提案がされているか。

④ インバウンドガイド育成講座

- ・せとうち地域内のガイドを育成、ネットワーク化するための具体的で有効な手法が提案されているか。また、育成講座に参加したガイドによるツアー実施を促進するために、具体的で有効な提案がされているか。

⑤ Setouchi Reflection Trip (SRT) の整備

- ・本事業の成果を向上させるためのSRTの整備に関する具体的で有効な提案がされているか。

III 旅行商品流通環境整備

⑥ DMC、ランオペ等のネットワーク構築および販売支援

- ・ランオペ等に関しては、機構がターゲットとする市場の有力なツアオペやトラベルエージェントと連携できる可能性の高い候補をネットワーク化する具体的で有効な提案がされているか。特に、ランオペに関してはせとうちエリアのサプライヤー等の事業者とのネット

ワークが強い事業者、またDMCに関しては現地のツアオペ等とのネットワークが強い事業者を候補に提案されているか。

- ・ ネットワークしたDMCおよびランオペの旅行商品造成を促進する具体的で有効な提案がされているか。また、造成した旅行商品を含む商品の予約販売を促進する具体的で有効な提案がされているか。

(3) 業務遂行能力、業務運営の安定性及び計画性

- ・ 機構と受託者間の意思疎通ややり取りが円滑、スピーディー、タイムリーに進められるよう、よりシンプルな事業遂行体制がとられているか。また、機構からのオーダー及び関係機関との調整に迅速に対応できるような連絡体制となっているか。特に、進行管理者が1名以上配置され、効率的な業務運営体制となっているか。
- ・ 業務全体の実施スケジュールについて具体的に記載されており、確実な事業展開が可能と認められるか。
- ・ 類似業務の実績があり、業務の着実な履行が期待できるか。

(4) 事業の実施に係る経費

- ・ 事業計画に見合った経費となっているか。所要経費の明細が明らかとなっており、妥当性があるか。